

## 2021 年新年ご挨拶

日本製紙連合会会長 野沢 徹

2021 年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスで始まり、新型コロナウイルスで終わる、まさに災禍の 1 年となりました。世界経済はこのパンデミックにより未曾有の危機に直面し、世界全体の経済成長率は 1930 年代の大恐慌以来のマイナス成長になるものと見込まれております。

我が国経済も、昨年 4 月の緊急事態宣言の発出により、2020 年 4-6 月期の実質 GDP は年率 28.1%減と戦後最悪の落ち込みを記録する等、景気は急激に悪化しました。緊急事態宣言の全面解除以降は、経済活動再開の広がりや政府におけるコロナ関連の経済対策により、景気は緩やかに持ち直してきていましたが、新型コロナウイルス感染者の再拡大を受け、足元では先行きの不透明感が強まる状況となっております。

昨年末には、日本同様、世界において感染が再拡大する一方、ワクチンの接種が米英で始まり、消息に向けての一条の光も見え始めていますが、いずれにしても、新型コロナウイルスの終息のスピードと時期が、2021 年の日本はもとより世界経済の回復の下振れリスク、上振れ要因となることは間違いありません。

こうした経済情勢の下、製紙産業においては、構造的要因に加えパンデミックによる経済活動の停滞により、昨年の紙・板紙の国内出荷は大きく減少しま

した。特に新聞用紙や印刷・情報用紙といったグラフィック用紙については、各種イベントの自粛や中止、テレワークの普及、さらには行政、企業におけるデジタル化の動きの拡大によって需要が大きく減少し、その減少幅は2008年のリーマンショックに匹敵する水準となりました。また、段ボール原紙を中心とするパッケージング用紙につきましてはeコマースの拡大、衛生用紙につきましてはタオル用紙の需要拡大等、一部にコロナ禍における生活様式の変化にともなう需要が生まれてきておりますが、全体的にはマイナスとなり、経済の本格的回復を待つこととなっております。

今後の紙・板紙需要に関しては、品種間におけるバラツキはあるものの、全体的にはグラフィック系用紙を中心とした減少トレンドは続くものと思われまます。その中において、少子化やDXの進展による構造変化を含め、ウィズコロナ、アフターコロナ下での需要構造の変化をどう見ていくのか、さらには、この災禍を抜けた後のビヨンドコロナにおける社会活動・生活様式の変化がどの程度、紙・板紙需要に影響を与えていくのかを見極めていくことが、短期的、中・長期的にも重要なポイントとなるものと感じております。

会員企業においては、すでに供給体制の再構築、一層の生産性向上、省エネ、物流コスト等の削減、製品の高付加価値化、新興国市場を始めとする海外での事業展開、さらには脱プラスチックの動きに対応する代替製品の開発強化並びに需要創出、セルロースナノファイバーの新素材開発等、事業構造の転換を進めているところでありますが、さらにコロナで浮き彫りとなった災害や感染症等に対してもよりレジリエントな企業体質へと変容していくことが重要であ

ります。

日本製紙連合会といたしましては、業界を取り巻く事業環境が変化する中、こうした会員企業の皆様の経営努力、取り組みが結実するよう、的確な情報提供や環境整備に努め、側面から支援していくとともに、日本の製紙産業の様々な社会課題への対応を積極的に国内外へ発信していくことが肝要であります。

昨年10月には、菅新政権から2050年に温室効果ガス排出の実質ゼロ実現の言明があり、製紙業界にとっても地球温暖化対策へのさらなる対応を迫られる状況となっております。当連合会では低炭素社会実行計画の下、温室効果ガスの削減に継続して取り組んできておりますが、本年は新たに「製紙業界の2050年までの地球温暖化対策長期ビジョン」を策定し、業界としての温暖化対策を一層強化してまいりる予定としております。

さらには、古紙リサイクルを始めとした資源循環型社会構築への貢献、死亡災害0を最大の目標とする、働く全ての人々に安全・安心な労働環境を提供するための労働安全活動、内外関連統計及び情報の収集と提供、国際事業の推進、そして情報発信の核となる広報活動の推進等、いずれも重要な取り組みとなります。また、こうした活動を通じ社会課題へと取り組むことは、国連が2030年を目途として提唱するSDGsで示された目標達成に貢献するものであり、その取りまとめも行ってまいります。

昨年、コロナ禍において医療従事者等を称するエッセンシャルワーカーという言葉が定着しましたが、我々、製紙産業は構造的要因による需要面での逆風もありますが、様々な課題を克服しながら、豊かな国民生活を支えるエッセン

シャル産業としての役割を今後とも果たしてまいります。

最後となりますが、関係各位の今年1年のご健勝、ご発展と新型コロナウイルスが早期に終息し1日でも早く正常な社会経済活動に戻ることを祈念し、新年のご挨拶といたします。

(以上)